

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境学習の推進				所管	環境清掃部 環境課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	126	計画事業名	環境学習の推進					
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり							事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (3)地域で進める環境行動の支援							[事業開始] 平成12年度	
		[施策] ②環境を学び守り育てる仕組みづくり							[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 東京都台東区立環境ふれあい館条例、同施行規則					
	事業対象	直接の対象 : 来館者、在勤・在学者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	身近な環境から地球環境まで、幅広い視点からの環境学習を提供することで、環境保全に対する理解や意識の向上を図り、環境配慮型の行動へと繋げていく。								
事業内容 [29年度]	こども環境委員会、環境学習入門講座、環境・ごみ減量・リサイクル講演会など、子供から大人まで各世代に応じた環境学習講座を開催した。また、環境学習室を整備・運営し、より多くの区民に環境学習の場を提供するとともに、学校・地域・職場など様々な場面で、それぞれの主体が環境学習に取り組めるよう、環境情報の提供や人材育成、交流支援を行った。									
委託の有無	一部委託	委託内容		①環境学習入門講座 ②区民自然観察員養成講座 ③非常勤職員指導・ボランティア養成研修 ④精華公園ピオトープ調査 ⑤展示水槽管理						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	31年度	27年度	28年度	29年度		
	活動指標	環境学習講座実施回数		回	128	113	125	133	112	118.8%
		環境講演会実施回数		回	24	23	22	23	24	95.8%
	成果指標	環境学習講座受講者数		人	6,700	4,755	6,734	6,566	4,800	136.8%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				29,170		28,531		28,642
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				27,000		29,796		28,834
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				15,203		13,843		14,113
		総経費				602		944		779
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				42,805		44,583		43,726
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				62		120		78		
一般財源 (区負担額)				1,471		1,540		1,538		
前回評価から29年度に改善した事項	平成29年度から小中学生ポスター・標語コンクールに「花の心特別賞」を新設した。環境配慮行動の促進のため、環境学習出前講座で外国人留学生を対象に、ごみ分別ゲームや風呂敷体験を実施した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	環境問題は、区民や事業者がその役割と責任を理解して、環境配慮行動に取り組んでいくことが大切である。環境学習が、そのために果たす役割は大きく、その必要性も高い。							
	効率性	3	事業の展開をNPOとの協働で実施するなど、多様な取組みで効率化を図っており、おおむね適切である。							
	手段の適切性	3	環境保全活動団体や特定非営利活動法人、民間企業等の持つ専門性を活かして実施している手段は、おおむね適切である。							
目的達成度	4	講座の度にアンケートを取り、プログラムを見直したことにより参加者のニーズにより応えることができた。更なる参加者の確保につなげるために、より参加者のニーズを捉えた内容を工夫すると共に、周知方法を見直しなどを行う必要がある。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
平成29年度は、小中学生ポスター・標語コンクールをさらに充実させるとともに、外国人留学生を対象とした新たな取組みなどを行った。今後も子供から大人まで多くの区民に学習の場を提供するとともに、環境の情報を提供していく。また、様々な環境問題に目を向け、より多くの区民のニーズに応えられるよう事業内容を検討する。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		